



「第二次日本経穴委員会」便り

～第37回 経穴の読み方の検討～

第二次日本経穴委員会・作業部会委員

こばやしけんじ
小林健二

作業部会では、図版化の検討と同時進行で「経穴の読み方の検討」作業、「経穴書のデータベース化」作業も行っています。今回は経穴の読み方の検討内容の一部を紹介したいと思います。

中府は「ちゅうふ」、雲門は「うんもん」というように読んでいます。しかし、統一されていない読み方も多数あります。

たとえば筆者の年代(20年前卒業)では、腎経の或中(いくちゅう)は、或中(わくちゅう)で教育されていました。これは漢字それ自体違いがありますから、いいのですが、三焦経の天牖は「てんよう、てんゆう」と読み、どちらでもいいと教えられました。代田文誌著『鍼灸治療基礎学』では「てんよう」の読みが付されています。そのためか筆者は「てんよう」で覚え、そして今まで使っていました。今の学校では「てんゆう」で教えられていると思います。

そこで浦山きか氏の協力のもと現在使われている教科書の読み方の相違、さらに江戸期以降の読み方の変遷、漢字音の音韻学的な検討なども含め作業をすすめています。

相違例

『標準経穴学』(第一次日本経穴委員会)、『経絡経穴概論』(東洋療法学校協会)、『経絡・経穴概論』(理教連)の3冊を比較した例をあげ

ます。

1) 助詞「の」を付ける例

同名異穴の経穴は12種類がある(三里、五里、通谷、竅陰、臨泣、陽関)。手、足、頭、腹、腰の部位名+経穴名の場合に「の」を付けるテキストと付けないテキストがある。

標準経穴学(以下「標準」と略す)は付ける、学校協会(以下「学校」)、理教連(以下「理教」)のテキストは付けない。

- ・手三里(大腸経):て(の)さんり
- ・足三里(胃経):あし(の)さんり
- ・手五里(大腸経):て(の)ごり
- ・足五里(肝経):あし(の)ごり
- ・足通谷(膀胱経):あし(の)つうこく
- ・腹通谷(腎経):はら(の)つうこく
- ・頭竅陰(胆経):あたま(の)きょういん
- ・足竅陰(胆経):あし(の)きょういん
- ・足臨泣(胆経):あし(の)りんきゅう
- ・足陽関(胆経):あし(の)ようかん
- ・腰陽関(督脈):こし(の)ようかん

2) 温溜(大腸経)

- ・おんる(学校、理教)
- ・おんりゅう(標準)

※復溜(腎経)は、3冊とも「ふくりゅう」

3) 腹結(脾経)

- ・ふくけつ (学校)
- ・ふっけつ (理教、標準)

4) 後谿 (小腸経)

- ・こうけい (学校、理教)
- ・ごけい (標準)

※後項 (膀胱経) は、3冊とも「ごちょう」

5) 膵膠 (小腸経)

- ・けんりょう (学校、理教)
- ・かんりょう (標準)

6) 絡却 (膀胱経)

- ・らくきやく (学校)
- ・らっきやく (理教、標準)

7) 魄戸 (膀胱経)

- ・はくこ (学校)
- ・はっこ (理教、標準)

8) 束骨 (膀胱経)

- ・そくこつ (学校)
- ・そっこつ (理教、標準)

9) 率谷 (胆経)

- ・そつこく (学校)
- ・そっこく (理教、標準)

10) 大敦 (肝経)

- ・だいとん (学校、標準)
- ・だいと (理教)

11) 膝関 (胆経)

- ・しっかん (学校)
- ・しつかん (理教、標準)

12) 曲骨 (任脈)

- ・きよくこつ (学校)
- ・きよっこつ (理教、標準)

読みが誤って使われている例

1) 臂臑 (大腸経)、臑会 (小腸経)

3つの教科書では、いずれも臂臑 (ひじゅ)、臑会 (じゅえ) と「臑」は「じゅ」と読んでい

るが「じゅ」と読むと「柔らかい肉」の意味になる。「うで」の意味では「のう」が正式な読み方となる。

2) 兪を含む経穴24種類

臑兪 (小腸経) 以下24種類の「兪」の字を含む経穴はいずれも「ゆ」と読んでいる。

これも「つぼ」の意味では、本来の読みは「しゅ」であり、「ゆ」と読むと人名や返事の「はい・yes」の意味となる。

臑兪、肩外兪、肩中兪、肺兪、厥陰兪、心兪、督兪、膈兪、肝兪、胆兪、脾兪、胃兪、三焦兪、腎兪、氣海兪、大腸兪、関元兪、小腸兪、膀胱兪、中膂兪、白環兪、肓兪、兪府、腰兪。

3) 食竇 (脾経)

食竇はいずれも「しょくとく」と読んでいるが、「竇」の字には「とく」の読みはない。「とう」の読みが正しい。

4) 消灑 (三焦経)

「消灑」(しょうれき)の「灑」を「れき」と読んでいるが、この読みはない。「らく」が正しい。

それ以外の読み方

「大」をだい、たい、と読むこともある。本来の読みとしては、「おおきい」の意味では「だい」と、「おおいに・おおいなる」の意味では「たい」と読むべきであるが、古来混用されてきた。

- ・大迎 (だいげい、たいげい)
- ・大都 (だいと、たいと)

経穴の読み方だけでも、まだ整理統一されていないのが現状です。読み方の参考になるご意見などありましたら、お知らせ下さい。

E-mail: kobayashi-toua@umin.net